



新酒まつり



農業祭

## 実りの秋に感謝し秋祭り盛大に開催 ～『新酒まつり』・『農業祭』

■『新酒まつり』と『農業祭』が10月30日に開催され、それぞれの会場は多くの人出で賑わいました。

明治蔵で開催された『新酒まつり』では、今年8月に完成、9月から一般開放している望楼のネーミングがこの日、『立神楼』に決定しました。

JA南さつま枕崎支所で開催された『農業祭』では、城之内早苗歌謡ショーや農産物なんでも品評会、農産物の即売会などがありました。



## 総勢175人で市内各地を清掃 ～枕崎市シルバー人材センター会員がボランティア清掃

■枕崎市シルバー人材センター会員によるボランティア清掃が10月13日、片平山公園や市立図書館など市内各地で行われ、同会員175人が草刈りや除草など約2時間の作業で汗を流しました。このボランティア清掃は、10月の『シルバー人材センター事業普及啓発促進月間』に合わせた啓発キャンペーンとして毎年実施しています。

## 石巻市の音楽団体へ義援金届く ～投稿者 枕崎七夕の会会長 板敷浩実さん

投稿

■夏のイベントとして開催された『枕崎七夕ライブ』。その活動で市民有志から集めた義援金約21万円と復興祈願の短冊が、枕崎七夕の会の会員や携わったボランティアの方々から、宮城県石巻市を訪問したちゃんサネさんに託され、同市で活動する石巻市音楽市民の会の鈴木文人代表らに手渡されました。鈴木代表からは「短冊に込められた思い一生忘れません」と感謝のことばをいただきました。

今回のイベントに義援金をご協力くださった市民の方々へ枕崎七夕の会一同より心より感謝申し上げます。



## インターネット活用で地方からの魅力発信 ～市観光協会観光講演会

■市観光協会主催の観光講演会が10月24日、地場センターで行われ、同協会会員や一般市民、南薩地域の観光関係者など約140人が参加しました。

講演会は2本立てで、始めに全日空鹿児島支店の篠原敏夫支店長が「観光振興における地元の役割とインターネットの活用」と題し、続いて観光業ウェブプランナーの大泉敏郎さんが「地元から情報発信…具体例とヒント」と題して講演しました。いずれも、インターネットを利用した地方からの情報発信の可能性や観光戦略の大切さに言及。「今は地方からも多くの情報を発信できる時代。地域資源を最大限に生かすためには、地域全体が共通意識を持ち、一体となって取り組むことが大事」と訴えていました。



## シッタイだれたデ賞を受賞

～第10回KKBふるさとCM大賞2011

■県内市町村が作成した30秒CMを出品し競う、KKB鹿児島放送主催の『第10回KKBふるさとCM大賞2011』の審査会が10月27日、鹿児島市で行われ、本市の作品『コンカツ進行～』が、シッタイだれたデ賞を受賞しました。12月から来年8月ごろまで同局においてCM40本が放送されます。

CMの内容は、友好都市へ向け交流の進む稚内市との関係をテーマに制作。稚内の昆布ちゃんが鉄道で南を目指してたどり着いた枕崎で…。あとはテレビ放送をお楽しみに！審査会の様子は11月23日(水)の午前10時から放送される予定です。



## 枕崎市枕崎生活学校に九州地区表彰

～第33回あしたの日本を創る運動九州地区研究大会鹿児島大会

■第33回あしたの日本を創る運動九州地区研究大会鹿児島大会が9月8・9日、鹿児島市で開催され、枕崎市枕崎生活学校(通山成子代表)が表彰を受けました。

同生活学校は「身近な生活環境の改善」を活動のテーマに、EM菌を活用した環境保全への取り組みや、メンバーのスキルアップのため、郷土料理作りや生け花講習、先進地視察などの研修に参加しているほか、各種団体と協力してまちづくり活動を行っています。

通山代表は「これからも誰もが住みよいまちづくりを目指して、みんなで協力して頑張りたい」と意気込みを語っていました。

## 33回 あしたの日本を創る運動九州地区研究大会鹿児島大会



## 枕崎をもっとすてきなまちに

～市民討議会『Voice of まくらざき』

■(社)枕崎青年会議所主催(市共催)の市民討議会『Voice of まくらざき～はじまるよ!! 市民参加の新しいカタチ～』が10月23日、市内のホテルで開催されました。この討議会は、市内在住者を対象として無作為に1,000人を抽出、そのうち希望者が参加するという形式で開催され、当日は35～83歳までの16人が参加しました。

「枕崎をもっとすてきなまちにしたい!」をテーマに、参加者は3つのグループに分かれて討議を開始。「桜並木を作ったらどうか」「若者が定住できるように雇用拡大が必要」といった様々な意見が出ていました。

今回討議された内容については、(社)枕崎青年会議所が集約後、市役所に提出され、今後の市政運営の参考にされる予定です。



## 魚にふれ親しみ魚食を推進

～枕崎高校で魚のさばき方教室

■枕崎高校の3年生を対象にした魚のさばき方教室が10月18日、同校であり、生徒らは『枕崎の食を考える会』(山崎巳代治会長)と市漁協の有志グループ『チームぶえん』のメンバーから、さばき方の手ほどきを受けました。この教室は、地元産の魚を使い自分でさばくことで、魚に親しみ関心を持ってもらうことを目的としています。

山崎会長は「最初は魚をさわれなかった生徒も、最後は自分から2匹、3匹とさばいていた。枕崎は魚のまち。魚に接することで魚食の推進につながれば」と話していました。